

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について【概要】

福岡県教育庁教育振興部義務教育課

■ 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■ 2 実施主体及び参加主体

- 実施主体：国
- 参加主体：学校の設置管理者である都道府県教育委員会、市町村（学校組合）教育委員会、学校法人、国立大学法人等

■ 3 調査対象・内容、調査期日及び調査方式

- 調査対象・内容
 - ア 小学校調査
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
・国語、算数、理科及び児童質問紙調査
 - イ 中学校調査
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年
・国語、数学、理科及び生徒質問紙調査
- ※ 学校質問紙調査（校長が回答）を併せて実施
- 調査期日 令和4年4月19日（火）
- 調査方式 悉皆方式

■ 4 調査実施学校・児童生徒数

小学校	学校数(校)	児童数(人)		
		国語	算数	理科
福岡県(公立)	713	42,554	42,575	42,614
全国(公立)	18,671	965,308	965,431	965,761

中学校	学校数(校)	生徒数(人)		
		国語	数学	理科
福岡県(公立)	343	39,373	39,372	39,379
全国(公立)	9,348	891,820	891,913	892,585

※ 学校数は、国・私立を除く。※福岡県（公立）には、指定都市を含む。

■ 5 調査の結果

(1) 平均正答数・平均正答率・標準化得点

		小学校(公立)			中学校(公立)		
		平均正答数/出題数	標準化得点	平均正答率	平均正答数/出題数	標準化得点	平均正答率
国語	福岡県	9.2 / 14	100.0	66	9.7 / 14	100.0	69
	全国	9.2	(100.0)	66	9.7	(100.0)	69
算数 数学	福岡県	10.1 / 16	100.0	63	7.0 / 14	97.2	50
	全国	10.1	(100.0)	63	7.2	(100.0)	51
理科	福岡県	10.7 / 17	99.1	63	10.2 / 21	98.1	49
	全国	10.8	(100.0)	63	10.4	(100.0)	49

※ 標準化得点とは、全国の平均正答数を100としたときの本県の平均得点のこと。

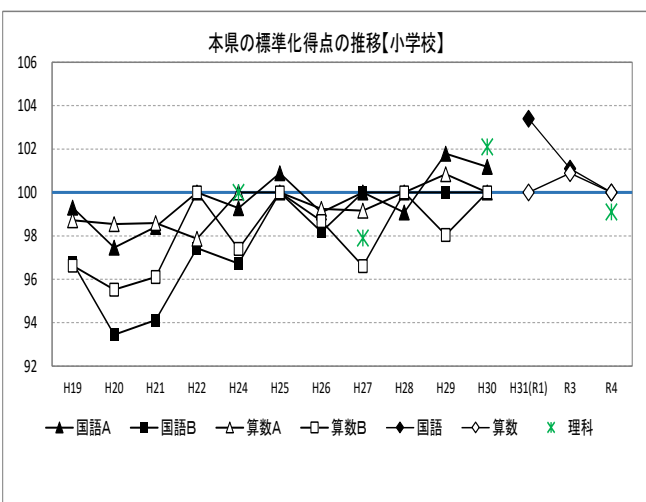
※ 理科は3回に1回で調査を実施。(前回は平成30年度)

※ 平成31(令和元)年度から、「知識に関する問題(A問題)」と「活用に関する問題(B問題)」を一体的に問う形式に変更。

(2) 本県の標準化得点の推移

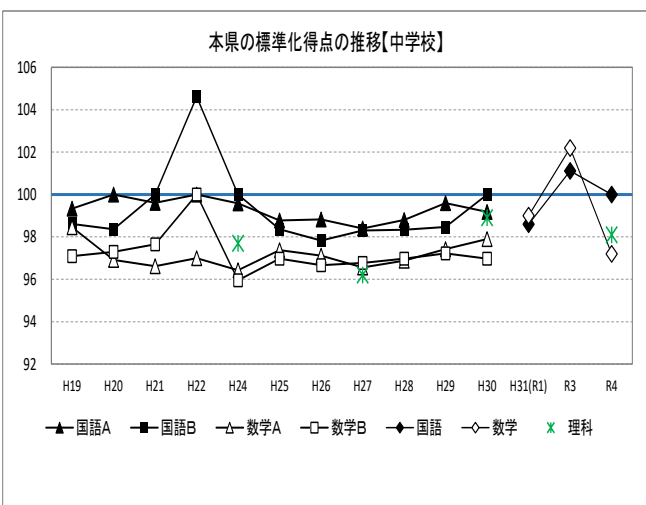
【小学校】

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
H19	99.3	96.8	98.7	96.6	
H20	97.5	93.4	98.5	95.5	
H21	98.4	94.1	98.6	96.1	
H22	100.0	97.4	97.9	100.0	
H24	99.3	96.7	100.0	97.4	100.0
H25	100.9	100.0	100.0	100.0	
H26	99.1	98.2	99.2	98.7	
H27	100.0	100.0	99.2	96.6	97.9
H28	99.1	100.0	100.0	100.0	
H29	101.8	100.0	100.8	98.0	
H30	101.2	100.0	100.0	100.0	102.1
	国語		算数		
H31(R1)	103.4		100.0		
R2	未実施				
R3	101.1		100.9		
R4	100.0		100.0		99.1



【中学校】

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
H19	99.3	98.6	98.5	97.1	
H20	100.0	98.4	96.9	97.3	
H21	99.6	100.0	96.6	97.6	
H22	100.0	104.6	97.0	100.0	
H24	99.6	100.0	96.4	95.9	97.7
H25	98.8	98.4	97.4	97.0	
H26	98.8	97.8	97.1	96.7	
H27	98.4	98.3	96.6	96.8	96.2
H28	98.8	98.3	96.9	97.0	
H29	99.6	98.5	97.4	97.2	
H30	99.2	100.0	97.9	97.0	98.9
	国語		数学		
H31(R1)	98.6		99.0		
R2	未実施				
R3	101.1		102.2		
R4	100.0		97.2		98.1



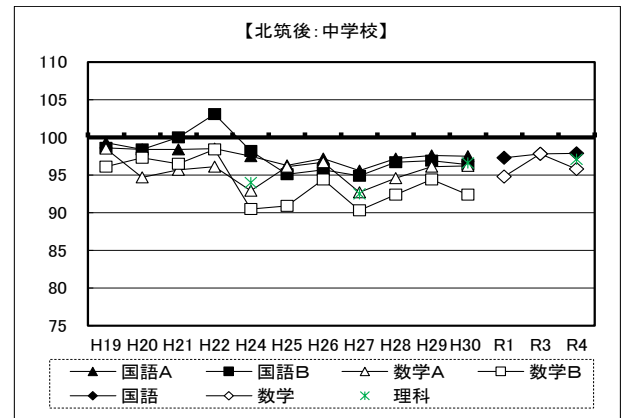
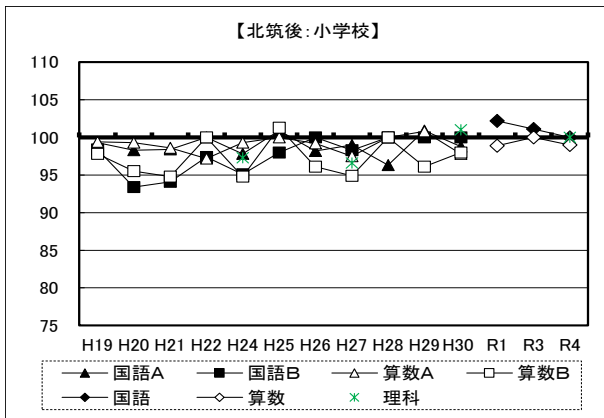
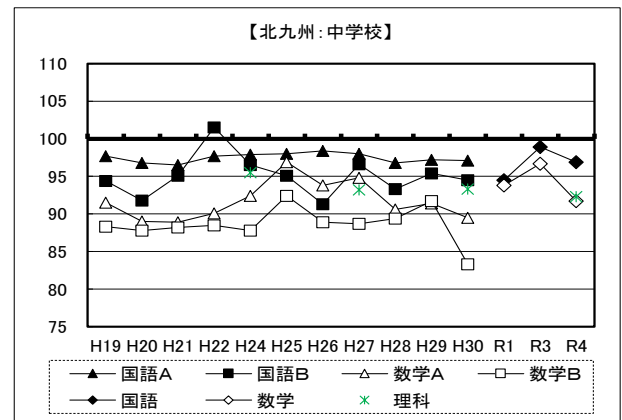
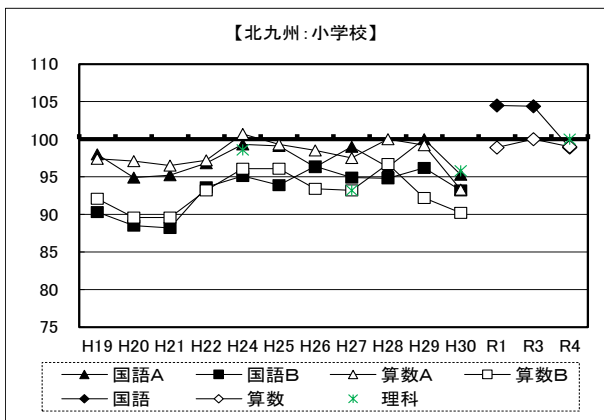
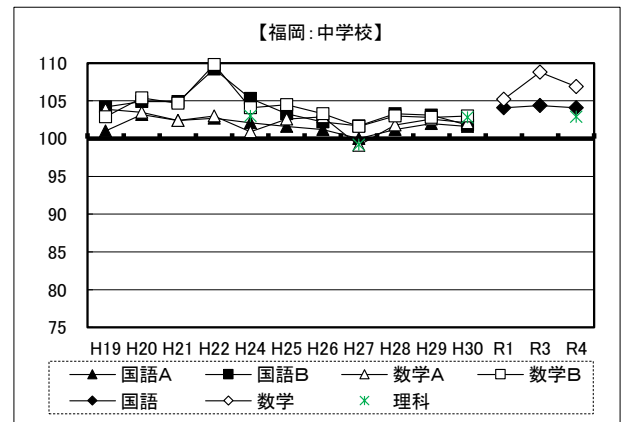
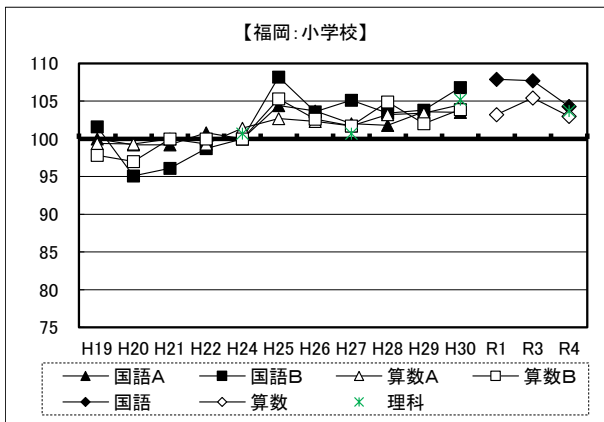
- 小学校国語は5回、小学校算数は4回、中学校国語は2回連続して全国平均以上の結果だった。
- 中学校数学は全国平均を下回った。
- 小学校理科、中学校理科は全国平均を下回った。

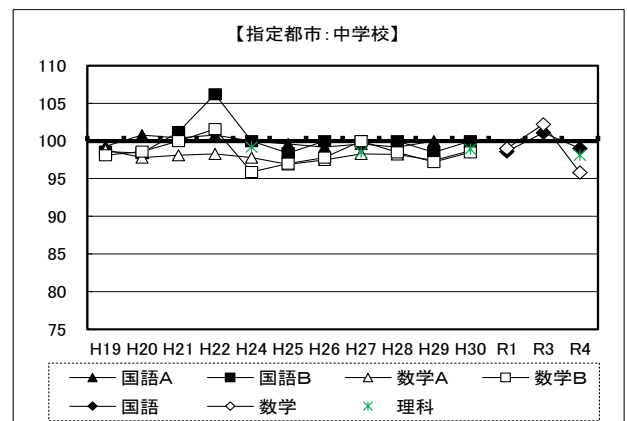
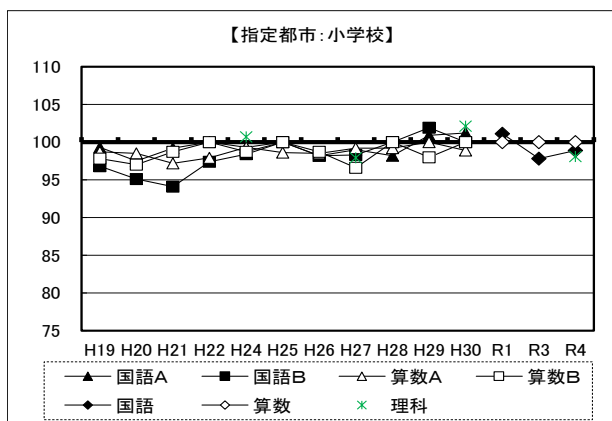
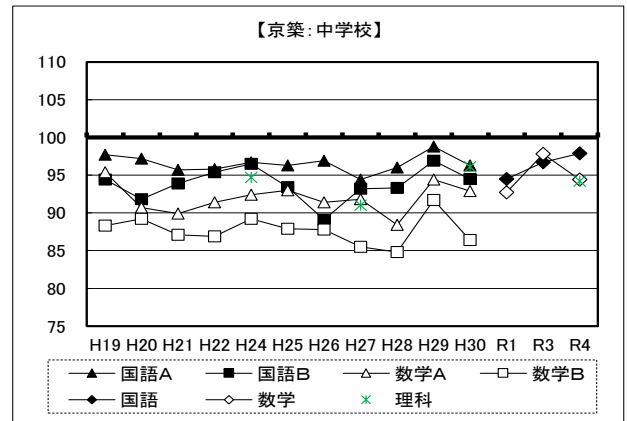
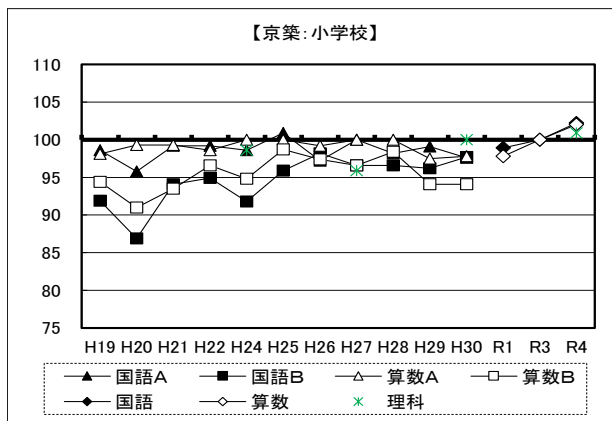
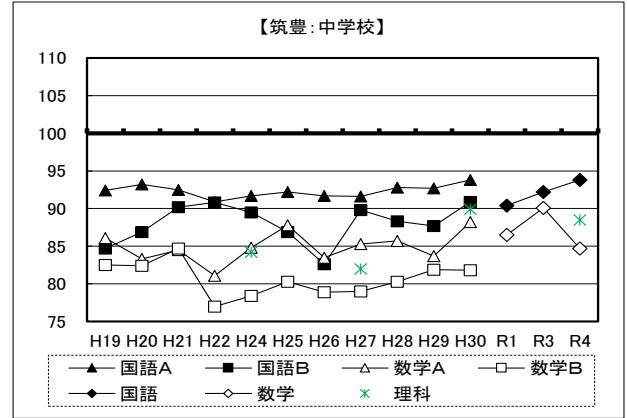
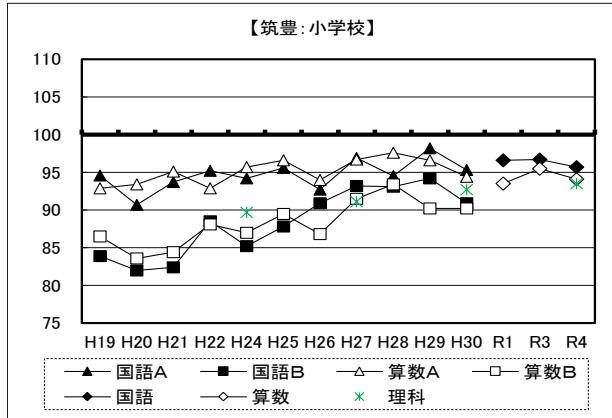
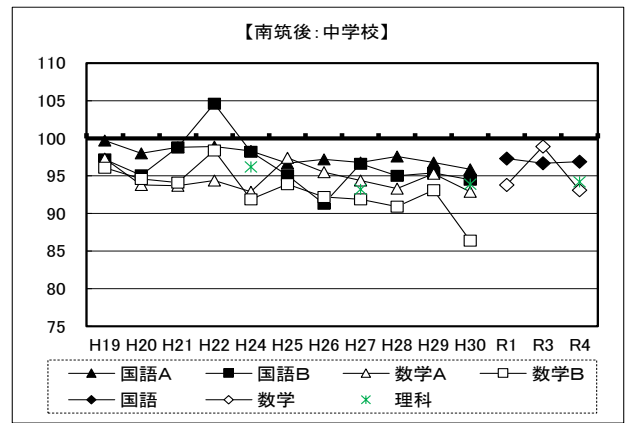
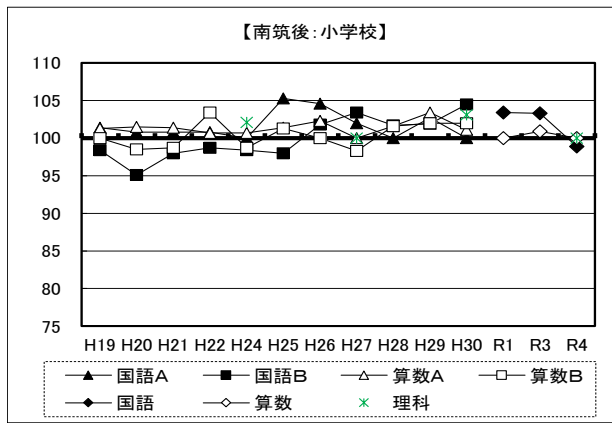
(3) 地区別の状況

ア 標準化得点

		小学校			中学校		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
福岡県		100.0	100.0	99.1	100.0	97.2	98.1
県内各 地区	福岡地区	104.3	103.0	103.7	104.1	106.9	102.9
	北九州地区	98.9	99.0	100.0	96.9	91.7	92.3
	北筑後地区	100.0	99.0	100.0	97.9	95.8	97.1
	南筑後地区	98.9	100.0	100.0	96.9	93.1	94.2
	筑豊地区	95.7	94.1	93.5	93.8	84.7	88.5
	京築地区	102.2	102.0	100.9	97.9	94.4	94.2
	指定都市	98.9	100.0	98.1	99.0	95.8	98.1
全国		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

イ 標準化得点の推移





- 小学校において7地区中、国語は3地区、算数は4地区、理科は5地区が全国平均以上の結果となった。
- 中学校において7地区中、国語は1地区、数学は1地区、理科は1地区が全国平均以上の結果となった。
- 小学校国語、小学校算数、中学校国語は、昨年度より地区間差が縮まり、中学校数学は、地区間差が広がっている。

(4) 本調査問題における福岡県の特徴（全国との差の大きい問題を抽出）
 【全国と比較して福岡県の正答率が高い問題（◇）、低い問題（◆）】

小学校

<国語>

問題番号	出題の趣旨	福岡県	全国	差
3四 選択式	◇ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く	79.5	77.9	+1.6
3三ア 短答式	◇ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	66.4	65.2	+1.2
2二 記述式	◆ 人物像や物語の全体像を具体的に想像する	66.8	68.3	-1.5
2一 (2) 選択式	◆ 登場人物の相互関係について、描写を基に捉える	69.5	70.6	-1.1

<算数>

問題番号	出題の趣旨	福岡県	全国	差
1(3) 記述式	◇ 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	80.3	76.0	+4.3
3(3) 選択式	◇ 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる	68.2	66.8	+1.4
2(2) 短答式	◆ 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる	63.3	64.6	-1.3
2(3) 選択式	◆ 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	20.3	21.4	-1.1

<理科>

問題番号	出題の趣旨	福岡県	全国	差
2(4) 記述式	◇ 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	41.9	39.3	+2.6
4(4) 短答式	◇ 水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している	63.8	62.0	+1.8
2(1) 短答式	◆ メスシリンダーという器具を理解している	64.2	67.8	-3.6
2(2) 選択式	◆ メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている	67.5	70.0	-2.5

【全国と比較して福岡県の正答率が高い問題（◇）、低い問題（◆）】

中学校

<国語>

問題番号	出題の趣旨	福岡県	全国	差
2二① 短答式	◇ 文脈に即して漢字を正しく書く	86.1	82.1	+4.0
2三 記述式	◇ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	49.7	46.5	+3.2
3一 短答式	◆ 表現の技法について理解する	48.4	52.5	-4.1
1二 選択式	◆ 論理の展開などに注意して聞く	63.4	65.1	-1.7

<数学>

問題番号	出題の趣旨	福岡県	全国	差
6(2) 記述式	◇ 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	50.6	48.7	+1.9
1 短答式	◇ 自然数を素数の積で表すことができる	54.0	52.2	+1.8
9(1) 短答式	◆ 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	69.3	73.2	-3.9
4 選択式	◆ 一次関数の変化の割合の意味を理解している	34.5	37.9	-3.4

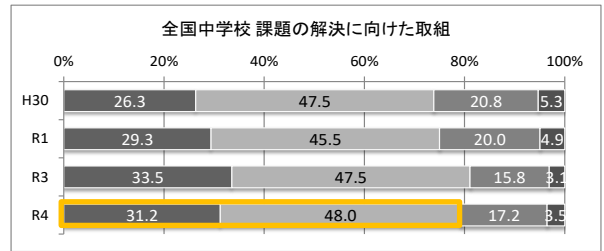
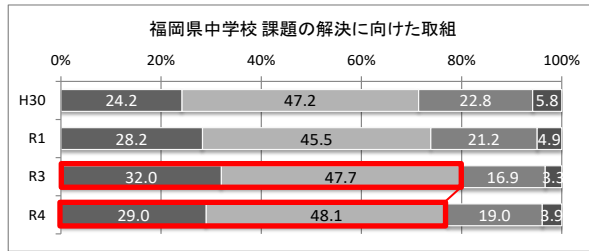
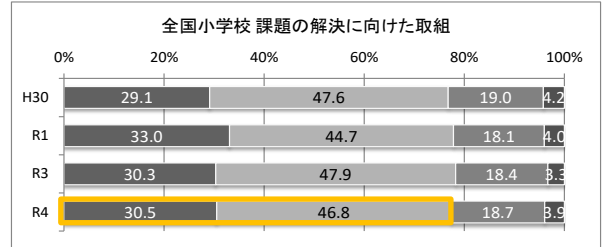
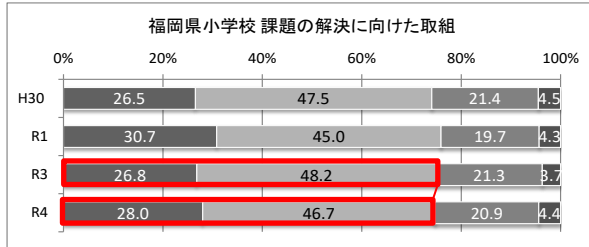
<理科>

問題番号	出題の趣旨	福岡県	全国	差
3(3) 短答式	◇ 化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できる	27.7	24.8	+2.9
5(1) 選択式	◇ 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できる	16.6	15.3	+1.3
5(2) 選択式	◆ 課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いている	40.5	45.0	-4.5
1(1) 選択式	◆ 日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できる	39.8	44.2	-4.4

(5) 質問紙調査の状況

ア 課題の解決に向けた取組（児童生徒質問紙）

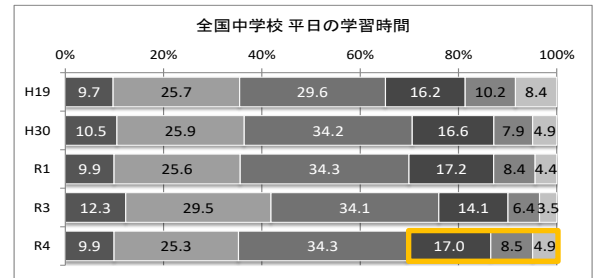
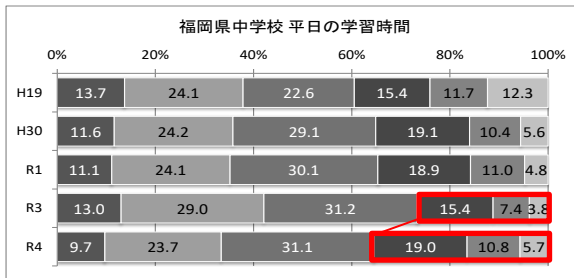
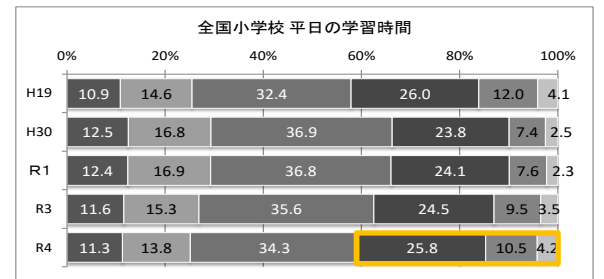
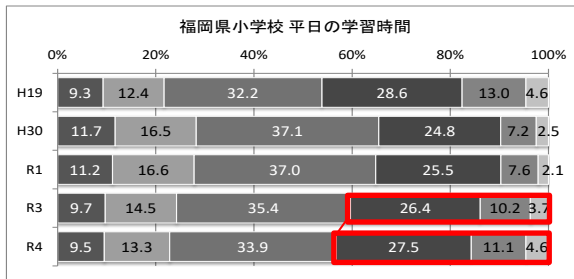
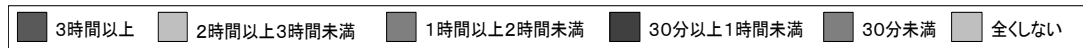
「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」（平成30年度からの調査項目）



- ・ 肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」）をした児童生徒の割合は、前回と比較すると、小学校は0.3ポイント減少、中学校は2.6ポイント減少している。
- ・ 全国と比較すると、本年度は、小学校で2.6ポイント、中学校で2.1ポイント下回っている。

イ 家庭での学習習慣の定着（児童生徒質問紙）

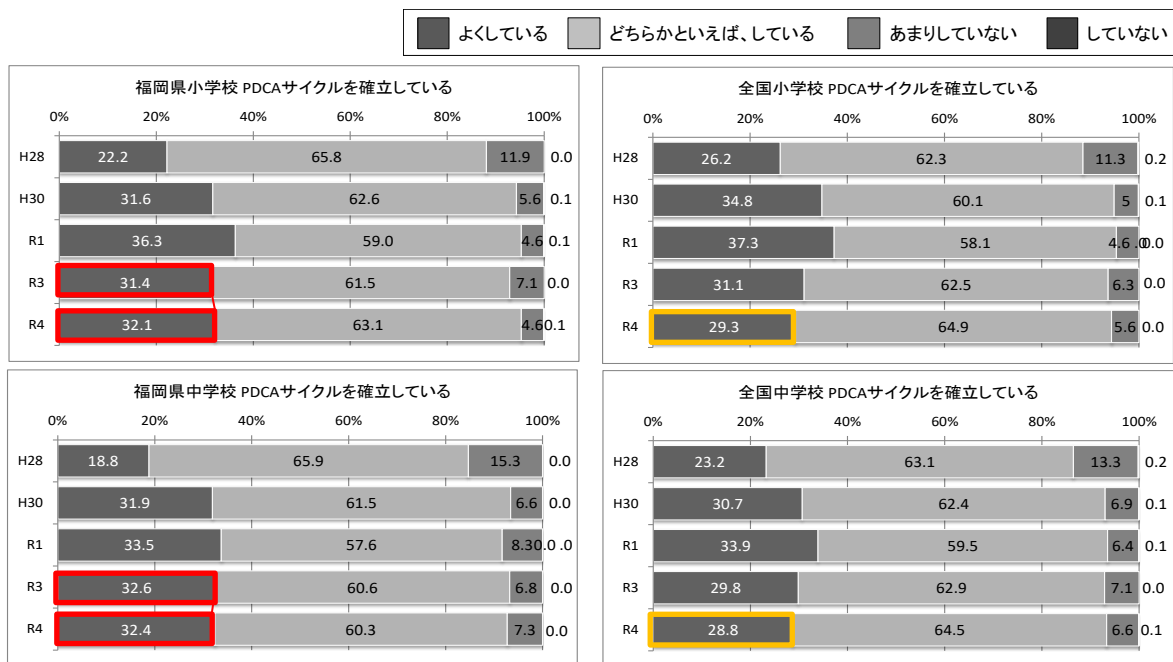
「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（平成19年度からの調査項目）



- ・ 1時間未満の児童生徒の割合は、前回と比較して、小学校は2.9ポイント増加、中学校は8.9ポイント増加している。
- ・ 全国と比較すると、本年度は、小学校で2.7ポイント、中学校で5.1ポイント上回っている。

ウ 学力向上に関する検証改善サイクルの確立（学校質問紙）

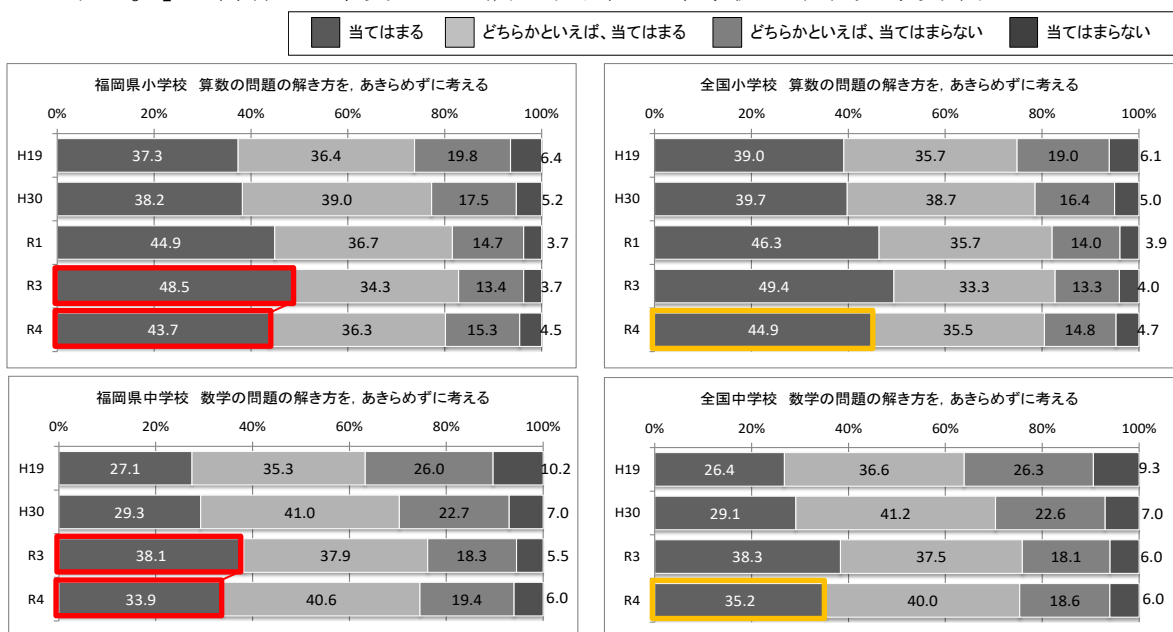
「児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。」
（平成28年度からの調査項目）



- 「よくしている」と回答した学校の割合は、前回と比較して、小学校は0.7ポイント増加、中学校は0.2ポイント減少している。
- 全国と比較すると、本年度は、小学校で2.8ポイント、中学校で3.6ポイント上回っている。

エ 粘り強く取り組む態度（児童生徒質問紙）

「算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。」（平成19年度からの調査項目）※中学校は令和元年度未実施

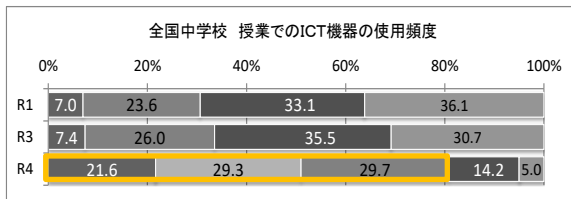
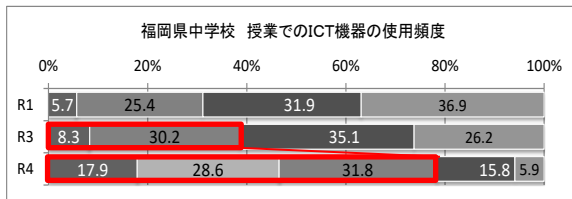
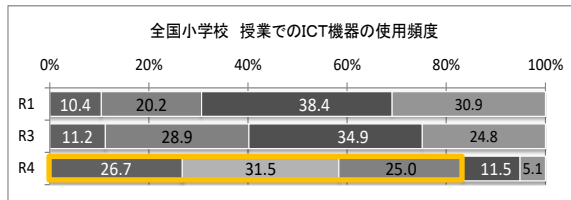
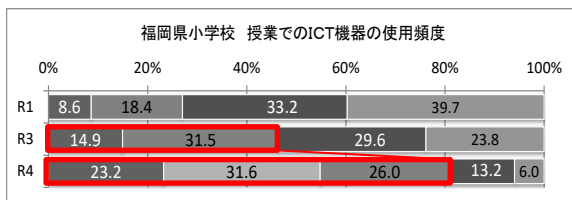
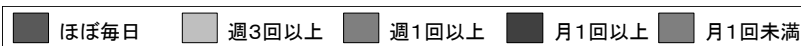


- 「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、前回と比較して、小学校は4.8ポイント減少、中学校は4.2ポイント減少している。
- 全国と比較すると、本年度は、小学校で1.2ポイント、中学校で1.3ポイント下回っている。

オ ICT を活用した学習状況（児童生徒質問紙）

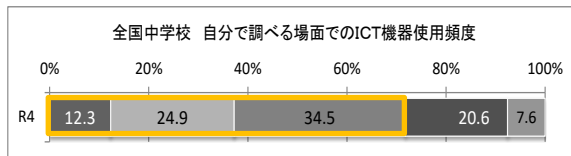
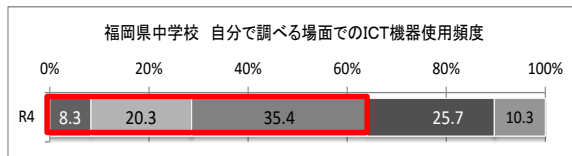
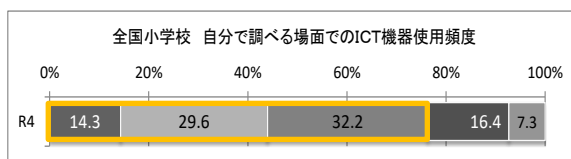
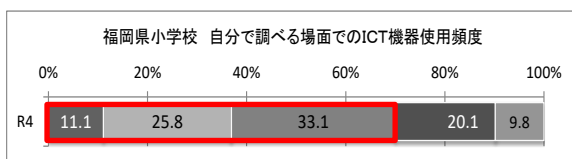
(ア) 「前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使いましたか。」（令和元年度からの調査項目）

※今年度から「週3回以上」の選択肢が追加。（以下、選択肢は共通）



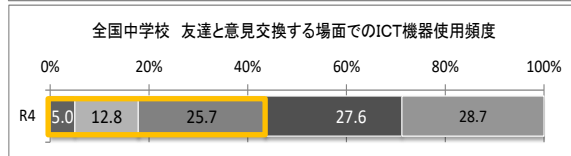
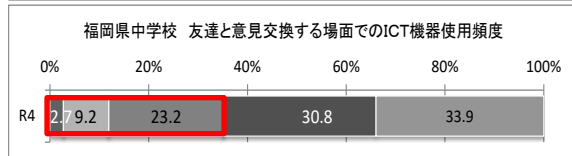
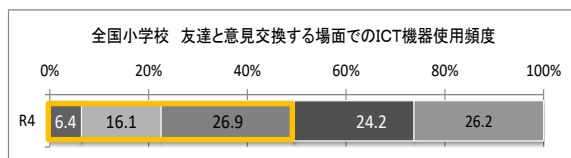
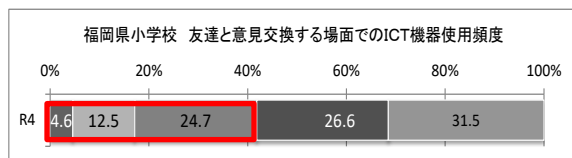
- ・ 「ほぼ毎日」～「週1回以上」と回答した児童生徒の割合は、前回と比較して、小学校は34.4ポイント、中学校は39.8ポイント増加している。
- ・ 全国と比較すると、本年度は、小学校で2.4ポイント、中学校で2.3ポイント下回っている。

(イ) 「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）。」（令和4年度からの調査項目）



- ・ 「ほぼ毎日」、「週3回以上」「週1回以上」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較すると、小学校で6.1ポイント、中学校で7.7ポイント下回っている。

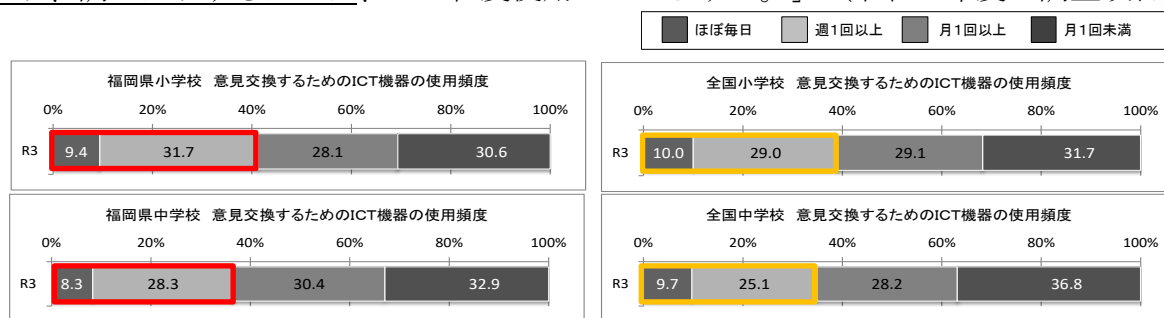
(ウ) 「学校で、学級の友達／生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。」（令和4年度からの調査項目）



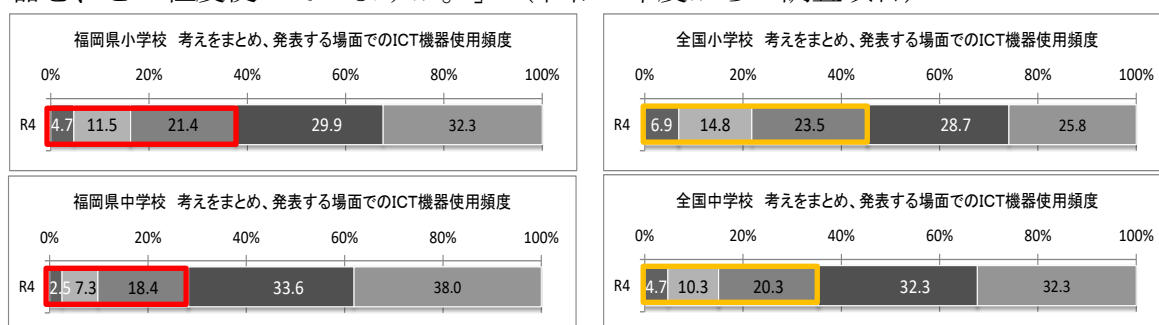
- ・ 「ほぼ毎日」、「週3回以上」「週1回以上」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較すると、小学校で7.6ポイント、中学校で8.4ポイント下回っている。

参考 昨年度の ICT を活用した学習状況の調査結果

「あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の友達／生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。」（令和 3 年度の調査項目）

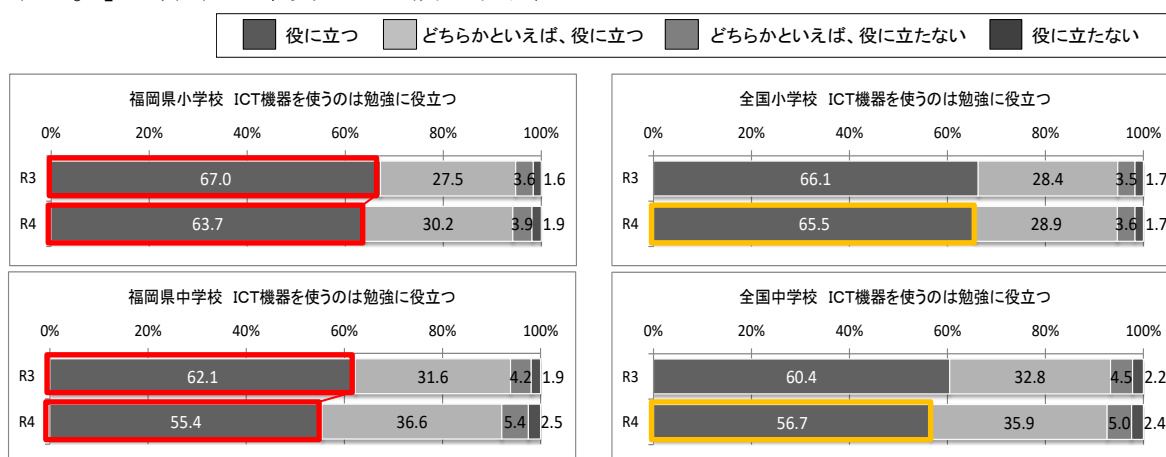


(エ) 「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか。」（令和 4 年度からの調査項目）



- ・ 「ほぼ毎日」、「週 3 回以上」「週 1 回以上」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較すると、小学校で 7.6 ポイント、中学校で 7.1 ポイント下回っている。

(オ) 「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。」（令和 3 年度からの調査項目）



- ・ 「役に立つ」と回答した児童生徒の割合は、前回と比較して、小学校は 3.3 ポイント減少、中学校は 6.7 ポイント減少している。
- ・ 「役に立つ」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較すると、小学校で 1.8 ポイント、中学校で 1.3 ポイント下回っている。

6 今後の予定

- 詳細な分析を基に報告書を作成し、市町村教育委員会及び全小中学校へ配布し、併せて、県教育委員会のホームページに掲載する。
- 市町村別結果の公表については、報告書において昨年度同様の内容・方法で行う。